令和８年９月１８日

海津市議会議長　様

海津市議会議員　伊藤久恵　印

令和　８年　9　月　18　日
午前・~~午後~~　9　時　00　分　受領

発　言　通　告　書

発言の種別 （不要の文字は消すこと）	~~質　疑~~・　討　論
発言の要旨 （討論の場合は、反対・賛成の別を記載する）	「非核三原則の堅持」を求める意見書に対し 反対。 その理由は別紙。
答弁を求める者 （質疑の場合のみ）	

上記のとおり通告します。

海市議　第125号
-8.9.18　受付
分類　永・10・5・3・1・常
海津市議会

「非核三原則の堅持」を求める意見書に対する反対討論

「非核三原則の堅持」を求める意見書に反対いたします。

私は、二度と核兵器の被爆者を生まないことが何よりも重要であると考えます。特に我が国は二度も核兵器による攻撃を受けた被爆国です。二度と核兵器を撃ち込まれることがないようにすべきところ、提案のような堅持を行うことは、全く我が国の安全向上に資するものとはなり得ないと考えます。

この提案に賛同される方にお伺いしたいのですが、皆さんは、現実的な脅威について、何一つ語ることなく、何の抑止力向上のための提案も示すことなく、一体どうやって将来の世代に安全な日本国を残すおつもりなのですか。現政権が、愛すべき祖国の防衛のためを考え、発する言葉は慎重でありつつも、確実に抑止力向上を進めようとしています。そのことに何も理解が及ばないのですか。

隣国である中国は、我が国に対して核恫喝を行っています。皆さんは、一言でも抗議の声を上げてこられましたか。

毎日のように尖閣諸島周辺の領海を脅かし、領土的野心をあらわにしていることに対して、何か正式に抗議の一つでもしたことはございますか。

北朝鮮は、数十の核兵器を持つとも言われています。皆さんは、抗議してきたのですか。現実的な抑止力向上についてどう考えておられますか。拉致被害者が帰国することができない現実をどのように考えておられるのですか。

私は、神を信じるものの一人として、その良心にしたがって、我が国周辺の核兵器を保有する国が、我が国を一方的に滅ぼすことができるような状況を作り出すことは、神の正義の実現に反するものだと考えます。

我が国は古来より、神仏を尊び、正しく生きることを大切にしてきた武士道の国です。私自身も、正しいと信じることを堂々と主張することをもって、武士道に生きる国の一員として、その使命を果さんとするものです。

我が国の周辺には大量の核兵器が存在し、実際に使われる脅威がある以上、我が国が将来にわたり平和的な社会を維持していくためには、我が国の防衛力強化と、米国との同盟関係における現実的な核抑止力が必要であると考えます。それこそが我が国に対しての、核兵器の使用を含めた軍事行動を思いとどまらせることに繋がり、市民及び国民が平穏な生活を享受できる礎になると思います。

「非核三原則の堅持」を行うことは、現在の我が国を取り巻く国際情勢を無視したもので、一地方都市の決議であっても誤ったメッセージとなりかねません。市民及び国民の生命と財産を脅かすことにつながり、到底受け入れることができません。よって、断固反対いたします。

海津市議会議員　幸福実現党　伊藤久恵